

# 第1回「日本語体験コンテストinジャカルタ」 実施報告書



前列左より 石塚実行副委員長、VERAWATI 実行副委員長、菊川実行委員長、大塚審査委員長、白石審査委員  
後列左より コンテスト入賞者 5 名

- 【実施日】 2014 年 9 月 27 日（土）予選会：12：00～ 本選会：14：00～
- 【会場】 インドネシア・ジャカルタ市 SARI PAN PACIFIC HOTEL
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 COACH
- 【後援】 在インドネシア日本国大使館  
全日本空輸株式会社ジャカルタ支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス

## ＜総評＞

当財団で開催している「日本語体験コンテスト」は、1998 年度より大韓民国・ソウル市、2003 年度より中華人民共和国・上海市、2008 年度よりベトナム社会主義共和国・ホーチミン市、2011 年度よりミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市、2013 年度よりタイ・バンコク市、カンボジア・プノンペン市の 6 ケ国で、毎年開催し、各国においては好評でした。

今年度は、インドネシア・ジャカルタ市にて第 1 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」を 9 月 27 日(土)に開催致しました。

初めてジャカルタで行うコンテストということもあり、応募総数 58 名のうち 30 名が当日参加し、そのうち 14 名が予選会を通過、本選会のスピーチコンテストへ進みました。

予選会では、日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問を日本語で出題し、日本語能力だけではなく日本についての知識を試しました。30 問のうち 13 問以上の正解者が予選会を通過しました。

本選会では、その場で出された 3 つのスピーチ課題、①わたしが日本人に紹介したいインドネシアの有名人は… ②わたしが訪れてみたい日本の世界遺産は… ③わたしが社長だったら、日本企業と一緒につくりたいものは… 以上の課題から 1 つを選択し、5 分のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。

審査委員 3 名による審査の結果、5 名が入賞し、審査委員長より賞状と賞品目録を授与されました。入賞賞品は「夢・日本体験賞」で、2015 年 1 月 19 日(月)～1 月 26 日(月)(7 泊 8 日 1 泊機内泊)の日本体験旅行に招待致します。

この日本体験旅行で、日本留学の為の第一歩として日本を理解し、最終的に日本留学をして、将来日本・インドネシア両国の発展に貢献する人材となることを願っております。

## ＜実施報告＞

### ■ 予選会

予選会	12 : 00～	開会の辞・注意事項説明
	12 : 10～	予選 (日本語聞き取り問題 30 問)

日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付では日本の学校のパンフレットを配布しました！



予選会の様子

## ■ 本選会

本選会	14 : 00～	予選通過者発表（21 名）
	14 : 10～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14 : 20～14 : 25	シンキングタイム
	14 : 25～	スピーチ

予選通過者： 14 名 ⇒ 入 賞 者： 5 名

- 課題： ①わたしが日本人に紹介したいインドネシアの有名人は…  
 ②わたしが訪れてみたい日本の世界遺産は…  
 ③わたしが社長だったら、日本企業と一緒に作りたいたいのものは…

本選会で選ばれた課題の内容としては、①が 6 名・②が 1 名・③が 7 名という結果になりました。同一の課題で他に 5 ヶ国でも行っておりますが、実施する国によって選択される課題も異なるので、こういったところでもお国柄というものが出るのでと思います。

またインドネシアでのコンテストは初めてということもあり、本選会参加者の学生達の緊張感が伝わってきましたが、審査委員の先生方が優しく質問をしていたこともあり、和やかなムードで本選会を実施することが出来ました。



3 分間の即興日本語スピーチ



審査委員からの質問

## ■ アトラクション



本選会後は、有志によるインドネシアの伝統的な楽器を利用した演奏会が行われました。本選会が終わり、ほっとした学生達はこの演奏に耳を傾けておりました。



## ■ 表彰式

表彰式	16 : 00～	「夢・日本体験賞」発表（5名）
-----	----------	-----------------

### 式次第

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、審査委員講評
- 一、賞状授与
- 一、閉会の辞



菊川実行委員長挨拶  
当財団理事長



大塚審査委員長講評  
当財団奨学金選考委員



入賞者 5 名に賞状と目録を授与



入賞者 5 名に賞状と目録を授与



予選会通過者 9 名に奨励賞の授与

## 【入賞者】『夢・日本体験賞』



後列左より コンテスト入賞者 5 名 FARIKHATUL JANNAH、LYSTIA PRIMANDHANI、GRAY LAWRENCE SIROSI  
CHRISTINA HIUMANBRATA、TANIA SUHENDRO

氏名	所属
TANIA SUHENDRO	ビナヌサンタラ大学
CHRISTINA HIUMANBRATA	国際交流基金
GRAY LAWRENCE SIROSI	文化研究会
FARIKHATUL JANNAH	セマラン国立大学
LYSTIA PRIMANDHANI	ジャカルタ国立大学

入賞者 5 名には入賞賞品として、2015 年 1 月 19 日（月）～1 月 26 日（月）（7 泊 8 日 1 泊機内泊）の「夢・日本体験賞」（日本体験旅行）に招待致します。



講

評

審査委員 菊川 長徳  
一般財団法人 共立国際交流奨学財団 理事長  
国士舘大学 21 世紀アジア学部 教授

記念すべき、第 1 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」を 2014 年 9 月 27 日 Sari Pan Pacific Hotel で開催できて喜んでいます。

応募者は 58 名いたのですが、当日参加してくれた応募者は 30 名でした。土曜日で初めてという事で参加者数が多かったのか少なかったのかは判断できませんが、無事終った事に感謝したいと思います。

予選会は 30 名で実施し、日本の政治・文化・流行等の 30 問で、三択の問題でした。30 問のうち 13 問正解以上の参加者が、本選会に出て、即興のスピーチを行うことになりました。予選の通過者は 14 名です。

本選会は、テーマが 3 テーマあり、その中から自分で選んだテーマを 3 分間スピーチします。考える時間は 5 分間で、その後、自分から進んでスピーチをしてもらう手法です。

内容は、1. 「日本人に紹介したいインドネシアの有名人は・・・」というテーマで、このテーマでスピーチした人は、6 名でした。その内訳は大統領が 3 名、女性タレントが 3 名でした。2. 「日本で行ってみたい世界遺産は…」は 1 名しかいませんでした。3. 「私が社長で日本企業と一緒に作りたものは…」は 7 名で一番多かったです。その中で上手にスピーチしていたのは、チーズを日本の企業と一緒に開発し、インドネシアで普及させたいという話しは特に興味を引かれました。

以上のようなことから、インドネシアで日本語を勉強している人達は、日本の企業に興味を持ち、将来会社を経営したいと思っている人が数多くいることもわかりました。

話し方については、順序よく、わかりやすく説明した人が入賞しました。

入賞した人は日本旅行で、日本企業等についてしっかり観察し、すばらしさを理解してえもらえればいいと思います。



講

評

審査委員 白石 麻子  
共立財団日本語学院 教員

今回初めて行われたジャカルタでの日本語体験コンテストですが、賞にも謳われている通りの夢と希望に満ちた皆さんがご参加されました。

個性豊かに素直な気持ちを表し、元気にスピーチされる様子を拝見し、夢に向かうエネルギーとその夢の実現の可能性を感じました。

私は共立財団日本語学院の教員として日本語教師という立場からも皆さんのスピーチを拝聴した訳ですが、私が感じるのは、皆さんの現在の日本語学習歴や資格の有無に関わらず、思いを伝えようとするその熱意が、皆さんの今後の日本語力の向上の鍵となるということです。言葉は心から生み出されるものであり、他国の言語を学ぶということは、異なる文化習慣を持つ人々の心を学ぶことでもあります。

今回受賞された方には日本体験旅行を通じて、日本の人々と心を通わせ、更なる異文化理解、日本語力の向上につなげて頂きたいと思います。また、今回入賞に至らなかった方々も、精一杯のスピーチに更に磨きをかけ、また来年も日本語体験コンテストに挑んで頂ければと思います。皆さん、また日本でお会いしましょう。





**一般財団法人 共立国際交流奨学財団**

所在地：〒101-0021

東京都千代田区外神田 2 丁目 18 番 8 号

TEL : 03-5295-0205

FAX : 03-5295-0206

URL : <http://www.kif-org.com>